

## 愉快地働いておられるか

自分として今いちばんに深く考えていることは、大勢の従業員諸君が毎日を愉快地働いておられるかどうかという点である。願わくは一人残らず、その日その日を愉快地働いてもらいたい。そのときに、真に会社の発展も各人の向上も望みうるのである。このことは常に自分として希望し、考えているところであるが、さて最良の実行方法ということは、自分だけではなかなか気づきにくいのである。したがって、いかにすれば毎日を愉快地働けるかということは、諸君おのおのにも考えてもらい、こうすればと考えられた点は、すぐに提言していただくようにしなければならぬ。かくて多くの人々の知恵を集めてこそ、理想の境地に達しうるのである。(中略)

されば諸君にして、心にわだかまりの生じたようなとき、あるいはよいことを思いついたときは躊躇なく、自分に直接なり、または上長なりに申し出て、会社のためにも、自分自身のためにも、愉快地働けるようにひたすら心がけていただきたいと痛感する次第である。

1939年(昭和14)4月13日 朝会